

～ 私たちの里親の始まり ～

私たち夫婦は子どもに恵まれず、体外受精や妊娠しやすくなるような体づくりの為に、県外まで十数年間通い続けました。効果が得られないまま半ば諦めていましたが、インターネットで里親のことを調べて、児童相談所で里親登録の申し込みをしました。養育里親の説明は受けましたが、私たちは子どものいない寂しさから、養子縁組を真っ先に考えて希望しました。

幸運にも一年足らずで4歳になる男の子と縁があり、児童養護施設へ迎えに行きました。自宅へ着くまでの車中では、チャイルドシートを飛び出さんばかりの大暴れでした。彼にとっては不安と恐怖の時間であり、自分の生活が変わることを察知した時間であったと思います。

あれから数年、小学生になった子どもは近所の友だちと仲良く遊んでいます。年に数回児童養護施設へ行く機会がありますが、子どもは喜んでついて来ます。子どもがいつか自分の生い立ちを考える時がくると思うと、親として複雑な思いもあります。

